


平成29年度 後期開催講座

会場：星薬科大学

月日	講座名	時間	受講料	講座内容	単位
10/1 (日)	薬剤師生涯学習 講演会シリーズ	9:30 12:45 時間に 注意	2000円	泌尿器科疾患治療 up to date ●糖尿病性腎臓病を考える 西山 成 (香川大学 医学部 薬理学教室) ●泌尿器科における最近の薬剤療法 西本 紘嗣郎 (埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科)	2
10/28 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3000円	がん化学療法と緩和ケア ●運動器の痛みの考え方ー急性痛と慢性痛ー 牛田 享宏 (愛知医科大学病院 痛みセンター) ○【症例検討】	2
11/12 (日)	第2回 Community Pharmacy フォーラム	9:30 12:40 時間に 注意	2000円	健康サポート薬局を考える ～セルフメディケーション～ ●健康サポート薬局～地域薬局の目指す住民への～ 「セルフメディケーション・セルフケア支援への取り組み」とは 藤原 英憲 (つちばし薬局) ●健康サポート薬局におけるロコモ骨粗鬆症リエゾンサービス 宮野 廣美 (伊奈オリーブ薬局) ●OTC取り組み事例集 ーそこから見た地域住民が望んでいる健康サポート薬局の役目ー 関下 禅美 (龍生堂本店 地域連携室) ○パネルディスカッション	2
11/25 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3000円	がん化学療法と緩和ケア ●がん緩和ケアにおける薬物療法:最近の話題 里見 絵理子 (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科) ○【症例検討】	2
11/26 (日)	第7回 日本くすりと食品機能 フォーラム	13:30 16:45	2000円	健康をサポートする食品機能 ●シトルリンの生理作用:血管、血流改善とスポーツや冷え、むくみ、筋肉への可能性(仮) 中村 佑輝 (協和発酵バイオ株式会社) ●乳たんぱく質と乳ペプチドの乳幼児および高齢者向け食品における有用性(仮) 坂田 稔行 (森永乳業株式会社)	2
12/3 (日)	大学院講義連携講座 (がん治療・緩和医療特別講義Ⅰ)	9:30 12:45 時間に 注意	2000円	がんの診断と治療 ●がん患者の感染症診療 沖中 敬二 (国立がん研究センター東病院・中央病院総合内科・造血幹細胞移植科) ●乳癌の診断と治療～個別化医療に向けた今後の展望 2017 中村 清吾 (昭和大学医学部 乳腺外科)	2
2/17 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3000円	がん化学療法と緩和ケア ●膵臓癌治療の現状と問題点(仮) 宇和川 匡 (慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科) ○【症例検討】	2
2/18 (日)	生涯教育講座	9:30 12:45 時間に 注意	2000円	皮膚疾患治療 up to date (2コマ講義) ●乾癬の病態と治療のストラテジー ●乾癬の臨床像と治療の実際 小宮根 真弓 (自治医科大学 皮膚科学教室)	2
3/3 (土)	大学院講義連携セミナー (がん治療・緩和医療特別講義Ⅱ)	17:30 20:30	3000円	がん化学療法と緩和ケア ●患者の痛みの訴えについて薬剤師が知っておくべきこと 加藤 総夫 (東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター・痛み脳科学センター) ○【症例検討】	2
3/4 (日)	日本肥満学会連携講座	13:30 16:45	2000円	生活習慣病改善指導 ●肥満症のリエゾン精神医学(仮) 堀川 直史 (埼玉医科大学かわごえクリニック) ●異所性脂肪と肥満症 島袋 充生 (福島県立医科大学附属病院 糖尿病・内分泌代謝内科)	2
9月 12月	社会人大学院(夜間開講) 講義受講コース	19:00 21:00	3000円	詳細はこちらをクリック  http://www.hoshi.ac.jp/site/nintei/pdf/2017/h29yakanzenk2.pdf	1.5

※ 星薬科大学認定薬剤師認定単位を2単位取得できます。

※ 10/28、11/25、2/17、ならびに3/3の大学院講義連携セミナーは日本緩和医療薬学会の後援を得ているため、本学認定単位または日本緩和医療薬学会認定単位のいずれかを選択することができます。

※ 10/1の薬剤師生涯学習・講演会シリーズ、11/26の日本くすりと食品機能フォーラム、12/3の大学院講義連携講座、2/18の生涯教育講座、ならびに、3/4日本肥満学会連携講座は、本学(G11)あるいは日本薬剤師研修センター(G01)いずれかの認定単位を選択することができます。また、3/4の講座は日本肥満学会と共催のため、希望者には生活習慣病改善指導士の認定試験申請資格に関わる単位(2単位)が付与されます。なお、11/12のCommunity Pharmacyフォーラムは本学(G11)、慶應義塾大学薬学部(G04)、あるいは明治薬科大学(G06)いずれかの認定単位を選択することができます。

※ 本予定は変更させていただく場合がございます。変更等のお知らせはホームページでご確認ください。